

保険料の計算例

お問い合わせ先 資格保険料課 ☎043-308-6768

◎年金収入が200万円のための単身世帯の場合

①均等割額

$$\begin{array}{l} \text{(年金収入)} \\ 200\text{万円} \end{array} - \begin{array}{l} \text{(公的年金等控除額)} \\ 120\text{万円} \end{array} - \begin{array}{l} \text{(特別控除額)} \\ 15\text{万円} \end{array} = \begin{array}{l} \text{(軽減判定の基準額)} \\ 65\text{万円} \end{array}$$

➡ 軽減判定の基準額65万円が2割軽減の基準額81万円〔33万円+(48万円×1人)〕を超えないため、2割軽減となります。

$$\begin{array}{l} \text{(均等割額)} \\ 40,400\text{円} \end{array} \times \begin{array}{l} \text{(10割-2割)} \\ 0.8 \end{array} = \begin{array}{l} \text{(軽減後の均等割額)} \\ 32,320\text{円} \end{array}$$

②所得割額

$$\begin{array}{l} \text{(年金収入)} \\ 200\text{万円} \end{array} - \begin{array}{l} \text{(公的年金等控除額)} \\ 120\text{万円} \end{array} - \begin{array}{l} \text{(基礎控除)} \\ 33\text{万円} \end{array} = \begin{array}{l} \text{(賦課のもととなる所得金額)} \\ 47\text{万円} \end{array}$$

➡ 賦課のもととなる所得金額47万円が軽減の基準額58万円以下のため、5割軽減となります。

$$\begin{array}{l} \text{(賦課のもととなる所得金額)} \\ 47\text{万円} \end{array} \times \begin{array}{l} \text{(所得割率)} \\ 7.93\% \end{array} \times \begin{array}{l} \text{(軽減割合)} \\ 0.5 \end{array} = \begin{array}{l} \text{(軽減後の所得割額)} \\ 18,635\text{円} \end{array}$$

➡ **年間保険料額 ①+②=50,900円** ※100円未満を切り捨てます。

収入ごとの保険料例

●単身世帯（収入は年金のみ）の場合

年金収入	80万円	120万円	160万円	200万円	240万円	280万円
年間保険料額	4,000円	6,000円	8,800円	50,900円	109,300円	141,100円

●後期高齢者夫婦2人世帯（収入は年金のみ）の場合

※年金収入額は、夫の金額です。

※妻の収入は、年金80万円以下を想定しています。

年金収入	80万円	120万円	160万円	200万円	240万円	280万円
年間保険料額(夫)	4,000円	6,000円	8,800円	38,800円	101,300円	141,100円
年間保険料額(妻)	4,000円	6,000円	6,000円	20,200円	32,300円	40,400円
合計保険料額	8,000円	12,000円	14,800円	59,000円	133,600円	181,500円